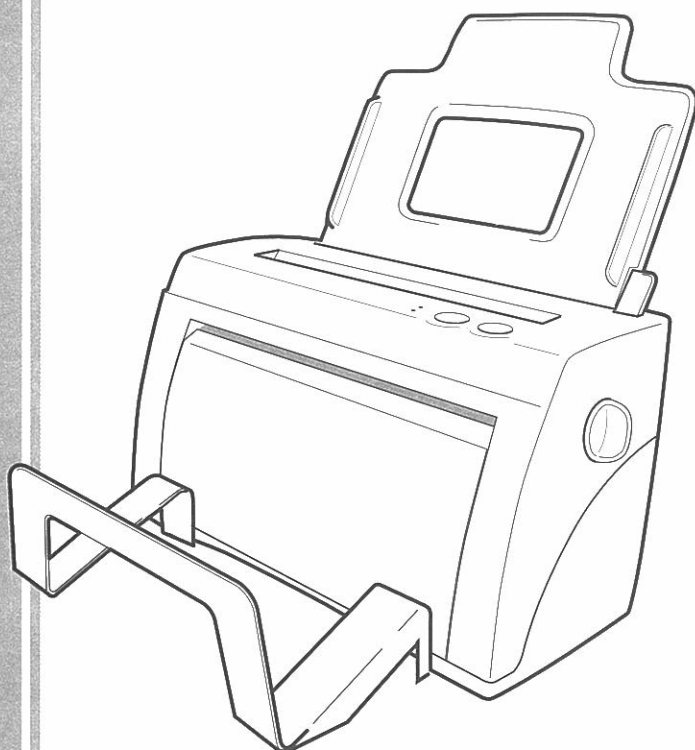


SILVER REED

自動紙折り機MA40

Oruman Mini



取扱説明書

このたびは、シルバーリード自動紙折り機MA40をお買いあげいただき、ありがとうございました。

安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、この取扱説明書は、いつでもご覧になれるところに、大切に保管してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に必ず本書をお読みください。
また、本書はいつでもごらんになれる所に保管してください。

本書はお客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取り扱いについて右記のように区分し、説明しています。内容をよくご理解のうえ、正しくお使いください。



警告

誤った取扱いにより、人が死亡または負傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取扱いにより、人が傷害を負う可能性および物質的損害の可能性が想定される内容を示します。



禁止 禁止 (してはいけないこと) を示します。

強制 強制 (必ずすること) を示します。

注意 注意を示します。(危険・警告を含む)

警告



禁止

● 電源は交流100V以外で使用しないでください。必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。
感電や発熱による発火のおそれがあります。



禁止

● 電源コードを破損するような行為(重い物を載せる・物に挟む・無理に曲げる・引っ張る・傷つける・加工する)は、しないでください。
感電や発熱による発火のおそれがあります。



禁止

● 延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。
感電や発熱による発火のおそれがあります。



禁止

● カバーを外したり、分解や改造は絶対にしないでください。
感電や発熱による発火のおそれがあります。



禁止

● 濡れた手で、運転操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電のおそれがあります。



禁止

● 異常な状態(発煙・異臭・著しい異常音など)のまま使用しないでください。
感電や発熱による発火のおそれがあります。(ご購入店にご相談ください。)



強制

● 異物(金属片・水など)が機器内に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り電源プラグを抜いてください。
感電や発熱による発火のおそれがあります。(ご購入店にご相談ください。)

注意



強制

● 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。プラグを傷めないように保管してください。
電源コードを引っ張って傷つけたり、コンセントの差し込みがゆるんだりホコリが付いていると、感電や漏電、ショートの原因になります。

⚠ 注意



禁止

- 髪の毛やネクタイ、ネックレスは「手差し給紙口」に近づけないでください。引き込まれてけがをすることがあります。



強制

- 紙詰まりの解除やローラー清掃の際は、必ず電源を切ってください。急に作動して思わぬけがをすることがあります。



強制

- 動作中に、紙詰まりや異物による停止や、異常音が発生した場合は、速やかに電源を切ってください。放置したままにしておきますと、故障の原因になることがあります。



強制

- 本体の設置は、安定した机、十分な広さや強度のある机の上で行ってください。本体が落下してけがをしたり、本体を破損したりする場合があります。



禁止

- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所での使用は避けてください。本体に影響を与えたり、紙折り動作ができなかったり、機械寿命に影響を与えたりする場合があります。



注意

- 精密機器の近くやラジオ、テレビの近くでの使用は避けてください。電波障害により周辺機器に影響を与える場合があります。



禁止

- 本体の上に物を置いたり、衝撃を与えたりしないでください。



禁止

- 紙折り動作中は、電源を切ったり本体を移動させないでください。

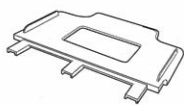
お買い上げ品の確認

付属品などの梱包内容がすべてそろっていることをご確認ください。

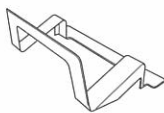
万が一、不足しているものや、破損しているものがある場合には、お買い上げの販売店までご連絡ください。



本体 (1台)



ペーパーサポート
(1個)



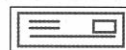
排出トレイ (1個)



電源コード (1本)



取扱説明書 (本書)



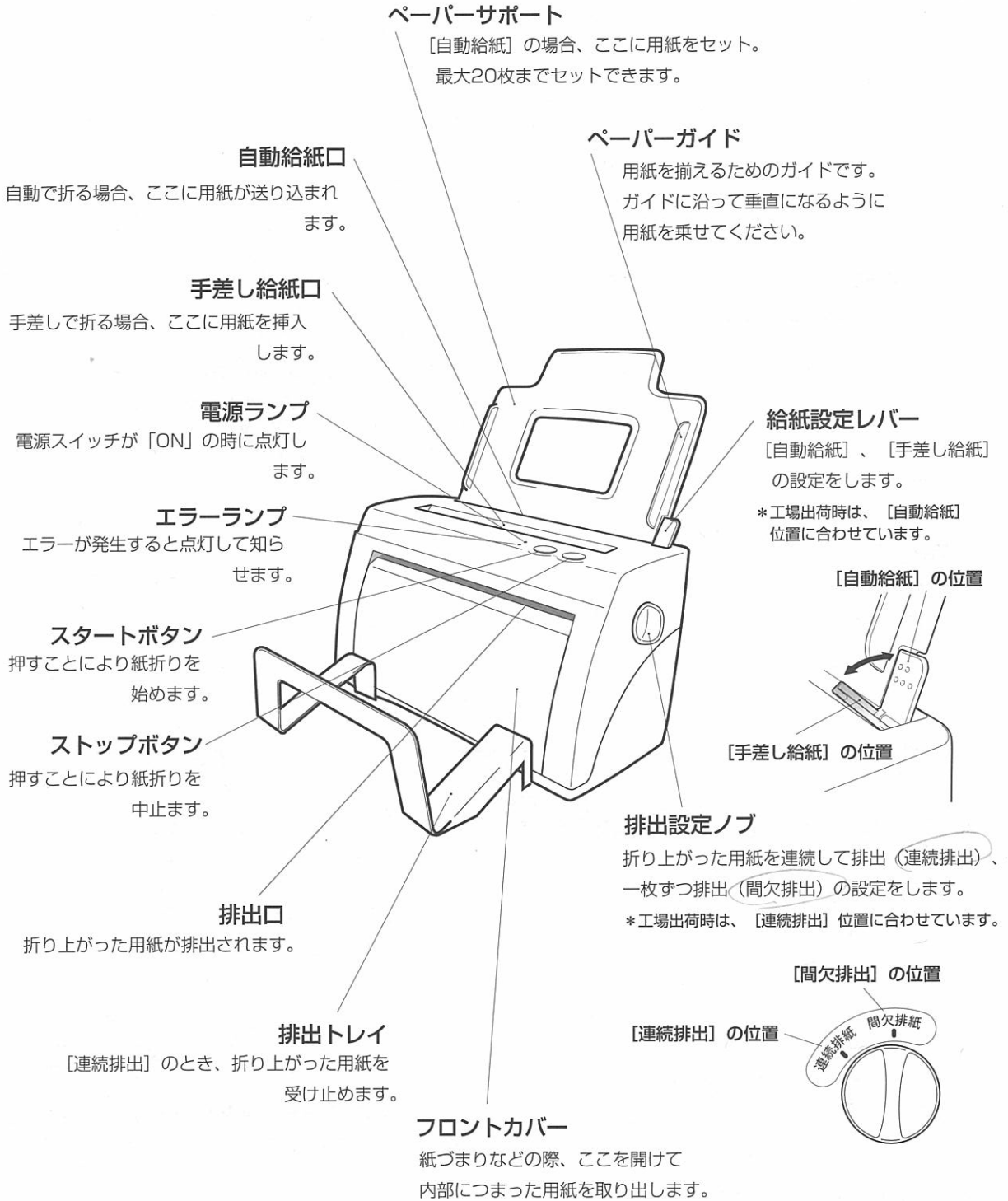
保証書 (1枚)

● 緩衝材などを取り外します

梱包箱や緩衝材は、修理などで本製品を安全に輸送する際に必要となります。

大切に保管しておきましょう。

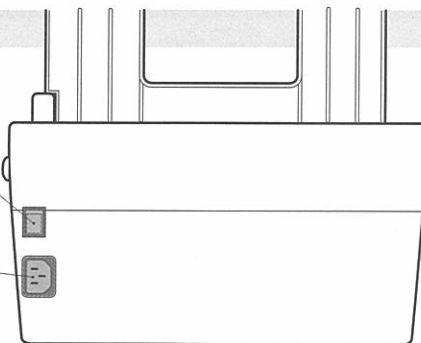
各部の名称と機能



● 本体背面

電源スイッチ
電源のON/OFFを行います。

電源コード差込口



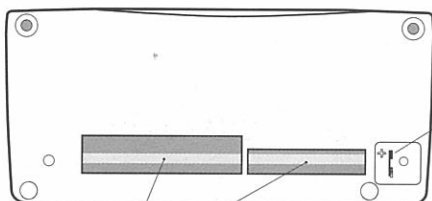
● 本体底面

折り方設定レバー

内三つ折り、内三つプラス折りの設定をします。
*工場出荷時は、【内三つ折】位置に合わせています。

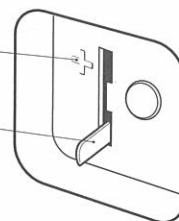
【内三つプラス折】の位置

【内三つ折】の位置



用紙排除口

紙づまりなどの際、この窓から本体内部につ
まった用紙をピンセットなどを使って取り出
します。



セットアップします

① ペーパーサポートを本体に取り付けます

【ペーパーガイド】がついている面を手前にして、
【自動給紙口】にある、後方の溝に差し込みます。
偏りのないよう水平に奥まで差し込んでください

② 排出トレイをセットします

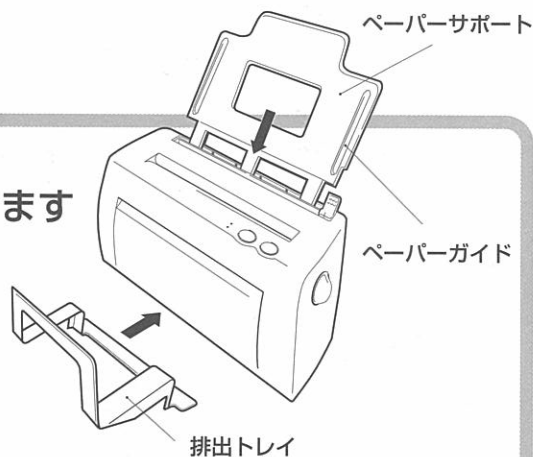
【排出トレイ】を本体前面から、本体の底面に
差し込みます。

③ 電源をつなぎます

付属の電源コードを本体背面の【電源コード差込口】および
コンセントにそれぞれ接続します。

④ 【電源スイッチ】をONにします。

これでセットアップは完了です。



⚠ 注意

電源は交流100Vです。
それ以外では決してお使いにな
らないでください。また、抜き
差しには必ずプラグ部分を持っ
て行ってください。

設定の手順

用紙をご希望の折り方で仕上げるまでの設定は、次の順序で設定してください。

1 折り方を設定しましょう

[内三つ折]、[内三つプラス折]の設定をします。

2 電源を入れます

セットアップ時に、電源をONにしてあるかを確認します。

3 給紙方法を設定しましょう

[自動給紙]、[手差し給紙]の設定をします。

4 排出方法を設定しましょう

[連続排出]、[間欠排出]の設定をします。

5 折ります

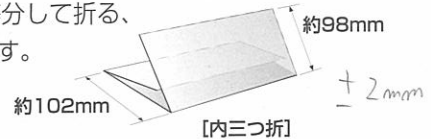
- [自動給紙] に設定した場合は、[スタートボタン] を押します。
- [手差し給紙] に設定した場合は、用紙を [手差し給紙口] に挿入します。

1 折り方の設定をします

本機には [内三つ折] と [内三つプラス折] の折り方ができます。設定は、[折り方設定レバー] で行います。

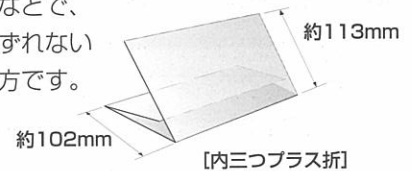
[内三つ折]

用紙をほぼ三等分して折る、通常の折り方です。



[内三つプラス折]

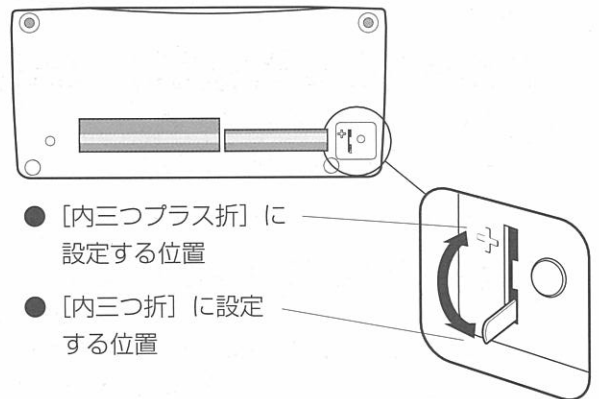
長3封筒に対して、封入する用紙の遊びを少なくするよう、一端だけを長く折ります。窓枠付きの封筒などで、宛先が窓枠からずれないようにする折り方です。



● [折り方設定レバー] で設定します。

本体底面にある [折り方設定レバー] をスライドさせて、ご希望の折り方位置に合わせます。

※工場出荷時は [内三つ折] に設定されています。



- [内三つプラス折] に設定する位置
- [内三つ折] に設定する位置

2 電源を入れます

セットアップの時に、本体背面にある [電源スイッチ] をONにしていますが、再度確認してください。まだでしたら、ONにしてください。

3 給紙方法を設定します

本機には【自動給紙】と【手差し給紙】の2方法があり、【給紙設定レバー】で設定します。

【自動給紙】

【ペーパーサポート】に用紙をセットすることで、最大20枚までの用紙を自動で給紙します。

【手差し給紙】

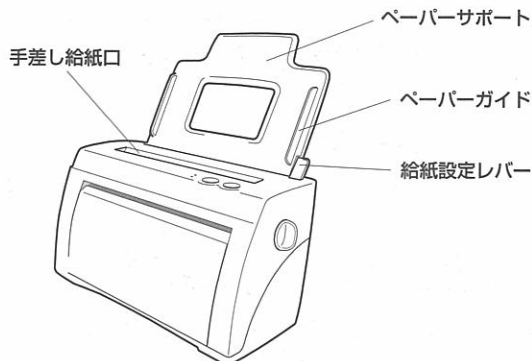
【手差し給紙口】に用紙を挿入することで、一枚ずつ折ることができます。また、複数枚の用紙を重ねて折る場合も【手差し給紙口】から給紙します。重ねて折ることができる用紙の数は、3枚までです。

● 【自動給紙】に設定する場合。

- ① 【給紙設定レバー】を後方（ペーパーサポートの角度に沿った位置）に倒します。
※工場出荷時は【自動給紙】に設定されています。
- ② 【ペーパーサポート】の上端を押さえて【ペーパーサポート】を手前に倒しながら、用紙（最大20枚）を【ペーパーガイド】に添わせて垂直に挿入します。この時、用紙が【ペーパーサポート】の底に突き当たるまで挿入し、用紙の端を揃えてください。
- ③ 【ペーパーサポート】を元の位置に戻し、用紙のセット完了です。

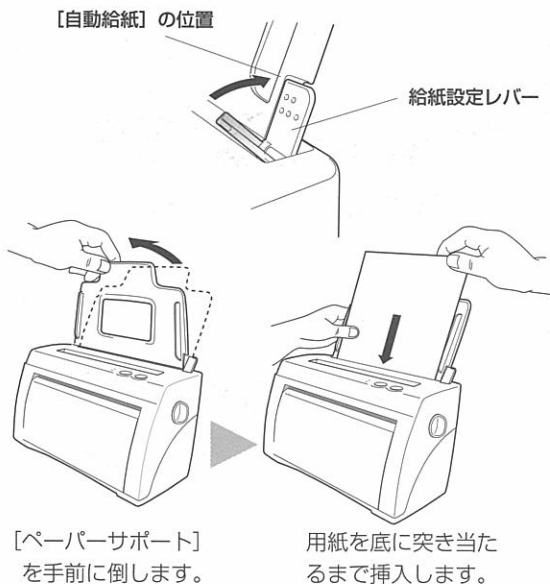
⚠ 注意

自動給紙や手差し給紙の動作中に【給紙設定レバー】を切り替えしないでください。故障の原因になります。



⚠ 注意

自動給紙は20枚以下で、手差し給紙の重ねて挿入する枚数は、3枚以下で使用してください。紙づまりや故障の原因になります。



用紙の挿入方向

自動・手差し給紙いずれの場合でも、印刷面を手前にして挿入した場合と印刷面を後面にして挿入した場合では、仕上がりが違います。実際に折って確認してください。

● 印刷面を手前に挿入した場合

印刷面が表側に見える状態で折られます。

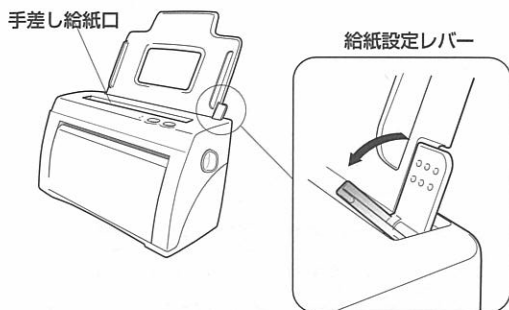


● 印刷面を後面に挿入した場合

印刷面を内側にして折られます。

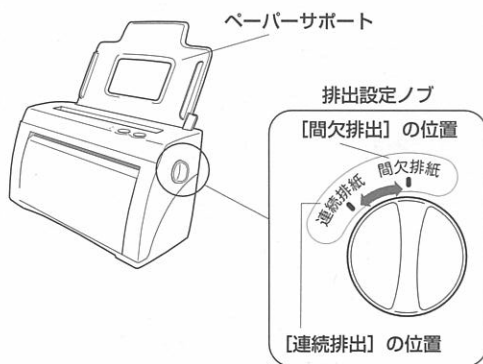
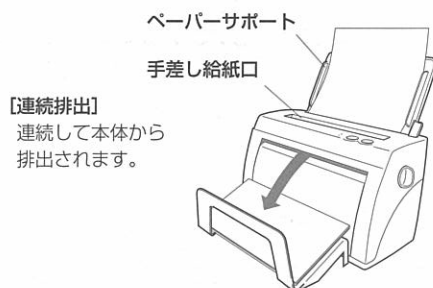


操作のしかた



注意

- 手差しで行う場合は、[ペーパーサポート] に用紙が無いことを確認してから作業を始めてください。エラーの原因になります。
- 用紙を [手差し給紙口] に斜めに挿入したりしますと、斜めに折れたり、シワや紙詰まりの原因になります。



● [手差し給紙] に設定する場合。

- ① [給紙設定レバー] を手前に倒します。
- ② 用紙 (重ねて折る場合は、3枚までです) を [手差し給紙口] に挿入します。この時、用紙が [手差し給紙口] の底にあるローラーに突き当たるまで差し込んでください。
- ③ 用紙が [手差し給紙口] に挿入されると自動的に引き込み、折られた用紙が [排出口] に排出されます。
* 手差しで折る場合は、用紙を挿入する前に、次に説明する「4 排出方法を設定します」を参照して、排出方法を設定してから用紙を挿入してください。

4 排出方法を設定します

本機には、折りあがった用紙の排出方法に [連続排出] と [間欠排出] の2方法があります。設定は [排出設定ノブ] で行います。

[連続排出]

[ペーパーサポート] に用紙がある間、あるいは [手差し給紙口] に用紙が挿入される間は、自動的に折りあげ排出し続けます。

[間欠排出]

折りあげた用紙を一枚ずつ [排出口] に保持します。これを抜き取ることで、次の折りあげた用紙を [排出口] に排出保持します。

一枚毎の確認を必要とする作業に適しています。

* 工場出荷時は、[連続排出] に合わせています。

● 設定は [排出設定ノブ] で行います。

[連続排出]

[排出設定ノブ] を手前に回します。

[間欠排出]

[排出設定ノブ] を垂直位置にします。

注意

連続排出、間欠排出の動作中に、[排出設定ノブ] の切り替えはしないでください。
故障の原因になります。

5 折ります

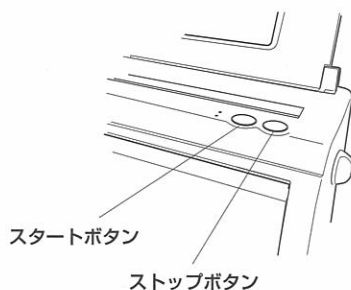
① ●給紙のしかたを〔自動給紙〕に設定している場合は、〔スタートボタン〕を押すことで用紙を折り始めます。

●給紙のしかたを〔手差し給紙〕に設定した場合は、用紙を〔手差し給紙口〕に挿入することで、自動的に用紙が引き込まれ、折られます。

〔自動給紙〕および〔連続排出〕に設定している場合、〔ペーパーサポート〕に用紙がある間は連続で折り続け、排出し続けます。

途中で止めたい場合は、〔ストップボタン〕を押してください。〔ストップボタン〕を押して中断した作業を再び始める場合は、まず〔ストップボタン〕を押し、次に〔スタートボタン〕を押すことで折り始めます。

② 作業を終了したら、必ず〔電源スイッチ〕をOFFにし、電源コードをコンセントから抜いておきます。










⚠ 注意

- 連続で折っている時には、〔手差し給紙口〕に用紙を挿入しないでください。故障の原因になります。
- 自動給紙不良が発生した場合、給紙設定レバー・用紙・ペーパーサポートを触らずに必ずストップボタンで動作を停止させてから、用紙の再セットを行ってください。

表示ランプの見方

〔電源ランプ〕と〔エラーランプ〕で、現在の動作状態を知ることができます。

状態	電源ランプ	エラーランプ	内容
待機中	 点灯	 消灯	電源を入れた状態
動作中	 遅い点滅	 消灯	紙折り動作を初めて、用紙を排出するまでの間 (間欠排出動作は、用紙を抜き取るまで)
エラー発生中	 点灯	 遅い点滅	使用方法を間違ったとき 本機内部でジャムが発生した時
強制停止	 点灯	 早い点滅	フロントカバーを開けた時 ストップボタンで動作を中止した時
強制排紙動作	 早い点滅	 早い点滅	ジャムした紙片を排出している時

* 紙づまりのエラー発生中は、すべての原因が取り除かれない限り、エラー状態は継続します。

つまった (ジャム) 用紙を取り除くには

本機内部に用紙がつまった場合は、次の手順で用紙を取り除いてください。

まず、強制排紙を試してみる

本機内部のローラに巻きついた、用紙や紙片の除去を試みてください。

- ① 電源を入れ、駆動可能状態にします。
- ② [給紙設定レバー] を [手差し給紙] に設定します。
- ③ [スタートボタン] を押します。
これにより、ローラが瞬時回転し、巻きついた用紙や紙片などを排出します。

- * [ペーパーサポート] に用紙が残っていたり、[フロントカバー] が開いているとこの操作はできません。残っている用紙を取り去り、[フロントカバー] を閉めてから行ってください。
- * 強制排紙で解決できない場合は、次の方法で取り除いてください。

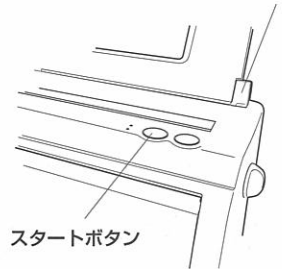
[フロントカバー] を開けて取り除く

- ① 電源コードと [ペーパーサポート] を本機からはずします。
- ② 本機を後方へ倒し、[フロントカバー] の下端を引き上げるようにして [フロントカバー] を開けます。フロントカバーは、マグネットで固定されていますので 手前に少し強く引くことで開きます。
- ③ [フロントカバー] 内部の左側にある [ローラリリースレバー] を本体底面の方向にさげます。これにより、ローラの回転が軽くなります。
- ④ つまった用紙を取り除きます。

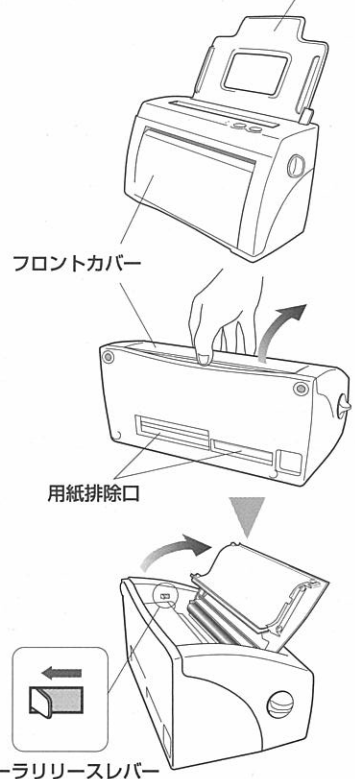
[用紙排除口] から取り除く

次に、本機底面にある [用紙排除口] から内部を点検してください。もし紙片などがある場合は、ピンセットなどを使って取り除きます。

給紙設定レバー



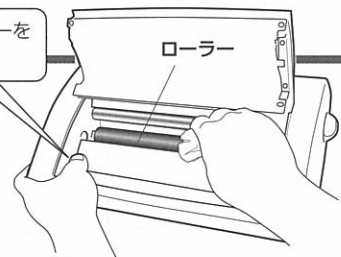
ペーパーサポート



お手入れの仕方

- 本体外側の汚れは、柔らかい布でから拭き、あるいはうすめた中性洗剤をしみ込ませた布で拭き取ってください。
- ローラー部の汚れは、[フロントカバー] を開けローラリリースレバーを矢印の方に押しながら、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布で拭き取ってください。ローラーを回転させながら一周拭いてください。

ローラリリースレバーを下げながら拭きます



⚠ 注意

- お手入れの前に運転を止め、電源プラグを抜いてください。
- 中性洗剤を含ませた布はかたく絞ってお使いください。

こんな時には……

故障かなと思われた時、修理の依頼をされる前に、まず下記の内容をご確認ください。

- ・自動給紙の際、紙質、環境、印刷インクの状態などによって、正しく折ることができない場合があります。また、折り線やシワのある紙、湿った紙、パンチ穴のある紙なども正しく折ることができません。
- ・次の表に従って対処しても症状が軽減されない場合や解決できない場合は、電源を切ってからお買い上げの販売店にご相談ください。

状 況	確認内容	対 処
電源スイッチを入るとエラーランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> * フロントカバーが開いてませんか？ * ペーパーサポートに用紙をセットしたまま、給紙設定レバーを手差し給紙の位置にしていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> → フロントカバーを閉めてください。 → 給紙設定レバーを自動給紙位置に合わせるか、ペーパーサポートの用紙をはずしてください。
スタートボタンを押してもペーパーサポートの用紙が送られない	<ul style="list-style-type: none"> * 給紙設定レバーを手差し給紙の位置にしていますか？ * ペーパーサポートに20枚以上の用紙をセットしていませんか？ * 用紙をペーパーサポートの底に突き当たるまで差し込みましたか？ * コピー用紙以外の紙質の用紙を使っていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> → 給紙設定レバーを自動給紙位置に合わせてください。 → 用紙の枚数を減らして再セットしてください。約20枚以下でご使用ください。 → 用紙を正しくセットしなおしてください。 → コピー用紙以外は、正しく送られないことがあります。手差し給紙でご使用ください。
手差し給紙の時、自動で給紙しない	<ul style="list-style-type: none"> * 給紙設定レバーを自動給紙位置にしていますか？ * ペーパーサポートに用紙が残っていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> → 給紙設定レバーを手差し給紙位置に合わせてください。 → 用紙をはずしてください。
用紙が数枚重なって送られる	<ul style="list-style-type: none"> * コピー用紙以外の紙質の用紙を使っていませんか？ * 印刷インクや静電気などで用紙がくっついていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> → コピー用紙以外は、正しく送られないことがあります。手差し給紙でご使用ください。 → 用紙をよくさばいてパラパラにしてからペーパーサポートにセットしてください。
用紙がつまる	<ul style="list-style-type: none"> * 内部に紙片や異物がつまっていますか？ * 手差し給紙での最大枚数を超えていますか？ * ローラーが汚れていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> → 取り除いてください。 「つまった (ジャム) 用紙を取り除くには」(8ページ)を参考にしてください。 → 手差し給紙の場合は、3枚以内でご使用ください。 → ローラーを清掃してください。
シワになる	<ul style="list-style-type: none"> * 内部に紙片や異物がつまっていますか？ * 用紙のセットが不揃いになっていませんか？ * ローラーが汚れていませんか？ * 手差し給紙で用紙を斜めに挿入していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> → 取り除いてください。 「つまった (ジャム) 用紙を取り除くには」(8ページ)を参考にしてください。 → 用紙をよく揃えて、ペーパーガイドに正確に合わせてセットしてください。 → ローラーを清掃してください。 → 手差し給紙口に用紙をまっすぐ差し入れてください。

● 主な仕様

用紙サイズ	A4 (210×297mm)
適合用紙	自動給紙：コピー用紙 (50g/m ² ~90g/m ²) のみ 手差し給紙：コピー用紙・アート紙・コート紙 (50g/m ² ~90g/m ²) ※自動給紙の際、紙質・環境・その他の影響により、正しく紙折りできない場合もあります。
自動給紙枚数	20枚
手差し枚数	最大3枚の重ね挿入可能
紙折り速度	20枚/分 (自動給紙の連続排出時)
折り形	内三つ折り (折り寸法 約102mm) 内三つプラス折り (折り寸法 約113mm) ※内三つプラス折りは、長3封筒内での用紙の遊びが少なくなります。
排紙方法	間欠排出：用紙が排出口にとどまり、取り去ると次の用紙を排出 連続排出：用紙が排出口にとどまることなく、連続して排出
電源	AC100V 50/60Hz
大きさ	収納時：308mm (幅) × 143mm (奥行) × 188mm (高さ) 使用時：308mm (幅) × 143mm (奥行) × 317mm (高さ)
重量	約4.5Kg
適正な使用環境	温度範囲 15℃~30℃ 湿度範囲 40%~75% (非結露状態) ※範囲内であっても、用紙の紙質・保管状態などにより紙折りされなかったり、排出された用紙が順に重ならなかったりする場合があります。

保証とアフターサービス

1. 保証書

- 保証書は別に添付してあります。
- 保証書には必ず販売店及びお買い上げ日などの記入をご確認のうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. アフターサービス

- 本製品は、性能維持及び安全にお使いいただくために、定期的な保守・点検・整備が必要です。
カスタマーサービスセンター TEL 03-5155-8737
(受付時間 9:00~17:30 土曜・日曜・祝日・夏季、年末年始休業日を除く)

製造元

シルバー精工株式会社

〒160-8456 東京都新宿区歌舞伎町2-31-11

78427507-B